

寺報は無料、不要の方は一報下さい。

第228号

# 龍源寺報

令和2年 孟蘭盆号

臨濟宗・妙心寺派	住職 松原信樹
佛母寺住職 松原覺樹	正福寺住職 松原行樹
TEL	3451-1853
FAX	3451-6094

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: info@ryugenji.com URL: http://www.ryugenji.com

## 孟蘭盆会におもっ

先日、戦後はじめての緊急事態宣言が出された。マスクやトイレトペーパーが品薄になり、四歳になる娘と一〇四歳を迎えた祖母との日常生活に不安を覚えた。今年の春彼岸の法要をさせていただいた頃に思ったことは、この状況は九年前の東日本大震災の雰囲気に近いものだという事だった。有識者の方々は、かつての日常に戻るのには困難だという。しかし、この状況がいかに解除されていくのかをよくよくみていきたいと思う。

東日本大震災のときに私達は、襲ってくる津波の映像を見て、誰もが死について深く考えさせられた。ある人は、日本人の生き方が問われているとか、復興するには新しいビジョンが必要だとか言われ、有識者による復興会議が何度も行われて、提言まで出したはずなのに、人間には、そのときの考えの効率化でつっぱしていく習性があるのかわからないが、結局元にもどって、アベノミクスという経済成長に突き進んだ。ただ、私のような僧侶には、経済、政治だけがすべてではなく、人間にはさらに深いものがあると考ええる。

一見抽象的にみえる不安や恐怖は、人間が生まれながらにして具えている本能である。それは日

常の生活では現れないけれど、緊急事態宣言がされた状況で顕在化した。つまり、通勤ラッシュ、マイナンバー、格差社会、核家族、DVといった実は今までにあったけれど、大きな問題としてとりあげられなかった問題が非常事態により顕在化したのである。さらに今それは、形を変えて私達の目の前に現れている。例えば、テレビのニュースをみると、近所でお店を開いていると、「自衛警察」という形で誹謗中傷する。つまり、不安や恐怖が人を正義感にかりたてている。

また、これから全てリモートワークで、教育も全てオンラインになると言う方もいる。私は思う、それでは、それらを可能にしている環境をいったい誰が作り守っているのか。リモートワークを成り立たせるためにも、どれほど多様な人が、支え合っていて働いているのか。それは、医療、放送、物流などインフラに関わる人全てに言えることである。普段はあまり省みないけれど、この度の危機で、心底理解でき可視化された部分がある。縁のある全ての方に尊敬の念をもつことが大切だし、生かしていただいていることに感謝したい。

ウイルスとの共生を覚悟する必要があるという。しかし、変わるものは変わるし、変わらないものは変わらない。これからの日常生活で単純な分け方にはまらないことが肝要ではなからうか。(信樹)

柳 緑

花 紅

盂蘭盆会を迎えます。新型コロナウイルスの感染拡大と罹患されている方々の一日でも早い回復を心よりお祈り申し上げます。七月十日の盂蘭盆法要は、春彼岸会と同様、

本堂でお集まりいただいていたの読経は中止し、お焼香の形式をとります。また、新盆のお檀家さまは、本堂で間隔を開けて椅子に座っていただくことを考えております。午前十一時より読経時間は約二十分です。御来山いただけるお檀家さまは、その時間にお願ひ申し上げます。御来山できない方は、ご連絡いただけます。当日ご先祖のお名前をいただければ、当日ご先祖のお名前を回向にて読み上げさせていただきます。決して無理のないようにしてください。また、御齋のちらし寿司作り、お盆の棚経を基本、中止致しますが、棚経は、ご希望の方に限りうかがわせて頂きます。また来年以降、新たにご希望のお檀家さまのお仏壇の前で読経させていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。▼マスクのご寄付をありがとうございます。

ございました。おかげさまで、春彼岸会のお参りのお檀家様に配布することができました。厚く御礼申し上げます。▼三月からほとんどの日々をお寺の事務に費やしました。古い資料の整理など、通常できないことをさせていただいたことは、大変ありがたいことでした。このような時には、家での坐禅や写経は、心を調えるのによろしいかと思えます。▼公園に子供を連れて行けなかったのか、境内で遊ぶ親子を見る機会が多くなりました。五月の龍源寺境内は紫色と白い花を咲かせる茉莉花が咲きほこり、アジサイが追って咲き始め、梅の実がなり始めます。全て祖母が植えたものなので、庭掃除をしないで面影を忘れた日はありませんでした。▼「ステイホーム」と言われて以来、龍源寺の事務の方、お掃除の方にもお休みいただきました。坐禅会、写経会、仏像を彫る会につきましてもお休みをさせていただきます。北軽井沢・日月庵坐禅堂での活動も休止しています。状況を見きわめて、段階的に元に

戻していきたいと思っております。▼ニューヨークにいる覚樹師、横浜にいる行樹師もおかげさまで、みな家族共々元気にしています。母の茶道教室は、しばらくお休みです。母はこの間、毎日午前中家内にお茶のお稽古をしていました。娘の瑞樹は六月で四歳になります。幼稚園も六月一日からはじまり、入園を楽しみにしています。自分の幼稚園時代を思い出してみると、楽しかったことしか覚えていません。最近はお寺の女性がお茶のお稽古をしているのをみて、一緒になって真似てみます。▼六月六日の哲明忌を寺族で執り行いました。また、来年早いもので泰道和尚の十三回忌になります。このような状況ですと、おそらく寺族で執り行うことになりそうです。▼七月十日午前十一時より、盂蘭盆会の法要を厳修致します。ご欠席の方でも、御回向させていただきます。御来山いただける方は、マスクの着用をお願い致します。どうか気をつけて御来山ください。宜しくお願ひ申し上げます。(信樹)

## ご寄付

金十万円 鵜飼家殿

マスク五十枚入り二組 匿名殿

マスク六十枚入り二組 匿名殿

ありがとうございました

※大変貴重なご寄付をありがとうございました。龍源寺の周囲が再開発されました。龍源寺を地域の文化資源の一つとして考え、先代から引き続き、境内整備に力を注いで参りたいと思っております。未熟者ですが、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

松原信樹

## 盂蘭盆会

一、七月十日（金曜日）

午前十一時より

・駐車場はありません。

南北線をご利用ください。

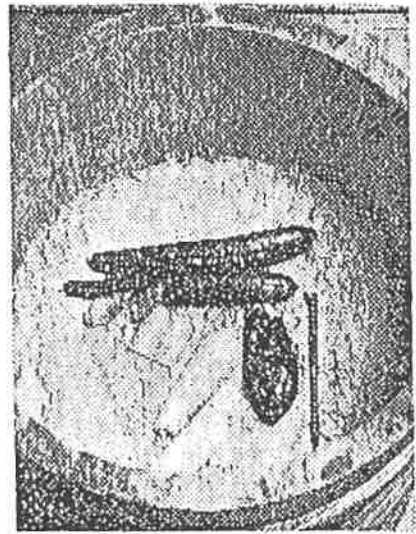
## お願い

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、本年の盂蘭盆会の法要は、階段・エレベーターを使って、お焼香をお願い致します。午前十一時より、読経時間は二十分です。その間にご来山下さい。

【味覚歳時記】

# ぬかみそ漬

松原静子



昨今、きゅうりや茄子<sup>なす</sup>は一年中手に入りますが、旬の夏に漬けたものが、一番いいお味ですね。

ぬか床は、二月ごろの寒い時期に作ります。つきたての新しいぬかニキ<sup>ニキ</sup>五百<sup>ム</sup>グラ、水五<sup>トル</sup>、塩一<sup>キ</sup>三百<sup>ム</sup>グラ、赤とうがらし五本、酒かすひと握り、昆布二十<sup>チ</sup>セン、古くぎ五本を用意してください。

鍋に水と昆布を入れ、沸騰した

ら昆布を引きあげます。その中に塩を入れて溶かし、お風呂のぬるま湯ほどにきめたら、きざんだ赤とうがらし、酒かす、米ぬかを入れて混ぜ、味噌ぐらいの柔らかさになつたらできあがりです。

そして、漬けるときは、古くぎの上に野菜を並べます。

若い女性は、ぬかみそに手を入れるのは気もちが悪いとおっしゃいますが、夜、漬けるときと、取り出すときに、すっぱくならないようによくかき回すだけで、ご家族に喜ばれるのですから、ぜひご自分で漬けてみてください。

夏のが家の食卓では、茄子のぬか漬けが人気です。